

シグマ研究委員会 核データ専門部会
スムーズ・パート、共鳴パラメータ両サブWG 合同会合議事録

1. 日 時：昭和53年9月22日(金) 13:30～17:30
2. 場 所：原研本部 第34会議室
3. 出席者：浅見(明)，浅見(哲)，菊池，中川(原研)，瑞慶覧(PNC)，
村田，川合，吉田(NAIG)，松延，浅野(住原工)

4. 議 事

4-1 スムース・パート・サブWGの作業経過報告

本年度，スムーズ・パート・サブWGで実施して来た Consistent evaluationの方法と作業経過の概要，およびこれに関連して $^{235}\sigma_f$ の第3次評価値を出すに到った経過に就て松延委員より説明があった。

4-2 ^{239}Pu の評価

$^{235}\sigma_f$ の第3次評価値によって， ^{239}Pu の絶対測定データと相対測定データとの差がどの程度改善されたか，又，残っている問題点は何かに就て川合委員より報告があった。

4-3 ^{240}Pu の評価

^{240}Pu に就ては絶対測定データが無く，他核種のような比較作業は出来ないが，ratio dataの評価の現状はどうなっているかに就き，9月初旬に吉田委員がKFKより持帰った新データ($^{240}\sigma_f/^{235}\sigma_f$ ，および $^{240}\sigma_f$)も含めて村田委員より報告があった。

4-4 ^{233}U の評価

^{233}U に就ては委託作業(住原工)として評価を進めているが，最近入手したPönitzの $^{233}\sigma_f$ の絶対測定データ(100 keV～8 MeV)およびその他の $^{233}\sigma_f$ データと，ratio dataおよび $^{235}\sigma_f$ (第3次評価値)から求めた値とのConsistencyに就て浅野委員より報告があった。

4-5 スムース・パート・サブWGの今後の作業日程

核分裂断面積に就ては，各核種共多少の問題点は残っているが，大体

収斂する傾向にある。そこで Compilation Group の JENDL-2 作成の
タイム・スケジュールも考慮して、10月末を目標に全 quantity の評価を終
らせるよう申し合せを行なった。

4-6 共鳴パラメータ・サブWGの作業経過報告

共鳴パラメータの評価法の開発および今年度の作業経過に就て、浅見
(明) 委員より総括的説明があった。

4-7 共鳴パラメータ・フィッティング・コードに就て

共鳴パラメータを評価するために開発された共鳴パラメータ・フィッテ
ィング・コードの内容およびテストランの結果得られた Γ_n , Γ_r の妥当性
に就て中川委員より報告があり、又コンピュータ・コードによる Γ_f の推
定方法に就ても説明があった。

4-8 共鳴パラメータ・サブWGの今後の作業日程

浅見(明) 委員より今後の作業日程に就て下記の通り報告があった。

- i) 10月中旬迄に評価するエネルギーの上限を決定する。
- ii) Γ_f の評価方法を Check するために、10月20日迄に数十本の測定デー
タに就て計算を行なう。又、 ^{238}U に就ては全共鳴領域に亘ってこの時
迄に作業を完了する。
- iii) 12月中に全体のまとめを行なうことにする。

4-9 スムース・パートと共鳴領域とのつなぎに就て

分離共鳴領域とスムース・パートとをつなぐ非分離共鳴領域に関して
は、非分離共鳴パラメータを作成して計算する必要があるので、Strength
functionによる Checkを行なうため、スムース・パートの各担当者より
50 keV以下の σ_t , σ_f , σ_{nr} の値をなるべく早く提出して欲しい旨、
菊池委員より要望が出された。

以 上